

平和で住みよい社会づくりに貢献していくために

20世紀の後半から、企業やNPO、NGOなどを含む各種団体、個人の社会貢献活動が注目されるようになってきました。CSR(Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任)、フィランソロピーといった言葉が人口に膾炙し、その価値が社会に広く認知されつつあります。その背景にあるのは、社会全体の持続的発展なくしては、企業も、個人も存在し続けることはできないという認識です。市民一人ひとりが積極的、主体的に社会に参加し、企業や団体がその活動を促進、支援していくことは、文化的で活力ある社会の形成と向上に欠かせない要素です。

一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構は、社会貢献活動が社会を支える極めて重要な活動であるという観点のもと、遊技業界ならびに民間や公的機関などと連携、協力しながら、パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む団体や研究機関に対する支援を中心に青少年の健全育成、平和で住みよい社会づくりなどの社会貢献活動の推進、またそれらの広報を目的に発足しました。

全日本遊技事業協同組合連合会の傘下にある都府県方面遊技業協同組合、支部組合そして組合員ホールは、これまでも全国の各地域で、様々な社会貢献・社会還元活動に取り組んできました。その活動は、社会福祉や青少年育成関連団体への援助や寄付を始め、授産施設の商品購入、町の清掃活動、子どもを犯罪や事故から守る活動、地元行事への参加や支援、老人ホームの慰問など、多岐にわたっています。当機構は、これらの活動の継続発展を支援するとともに、それらを集約し、未来に向かって一つの力として積み上げていくためのネットワークの結節点として機能しています。

日本の社会において、今後、ますます社会貢献の重要性が増していくことは間違いのないことと思います。当機構では、パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決、子どもの健全育成支援や災害復興支援活動への助成事業、社会貢献活動に真摯に取り組んでいる会員の顕彰事業、社会貢献のあり方や現状を考える社会貢献フォーラム、全国で業界が実施している社会貢献活動の内容や規模を紹介する報告書の作成などを通じ、21世紀の社会や時代の要請に応えるような、広い視野と深い洞察にもとづいた夢と実のある社会貢献を展開して参りたいと考えております。

一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構の 主な事業内容

助成事業

助成事業は、当機構の根幹事業です。毎年、パチンコ・パチスロ依存問題の解決や予防に取り組む事業、子どもの健全な成長を願う事業、災害の被災者を元気づける事業などに対し、助成を行っています。

依存問題への 取り組み

パチンコ・パチスロ業界をあげて依存問題に取り組み助成事業やフォーラムの実施、報告書の作成などを通して社会に貢献します。

顕彰事業

遊技業界が全国各地で実施している各種の社会貢献活動のなかから、社会的有用性、継続性、波及効果などを基準に、特に優れた活動を選定して顕彰しています。年間で最も優れた活動には、「社会貢献大賞」が授与されます。

社会貢献 フォーラムの実施

時代や社会の要請に合わせ、社会貢献や地域貢献の方向やあり方も変化していきます。どのような活動があり、どのような課題を抱えているのかなど、社会貢献の現状と可能性を考えるフォーラムを企画し、実施しています。

活動報告書の 作成・配布

助成事業と顕彰事業の詳細な内容報告のほか、全国で業界が実施している社会貢献活動の内容、拠出金額などをデータ化した報告書を毎年作成し、関係機関や全国の図書館などに配布し、業界による社会貢献活動の理解向上に努めています。

社会貢献を遊技文化の一翼に

一般社団法人
パチンコ・パチスロ社会貢献機構
代表理事

宮田 亮平



皆様方におかれましては、益々ご健勝のことと心からお慶び申し上げます。日頃より温かいご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。最初に私事で恐縮ですが、昨年6月、杉浦正健氏より代表理事職を引き継ぎました。微力ながら精一杯努力する所存ですので、よろしく願いいたします。

2020年から続く新型コロナウイルスの感染流行により、遊技業界では大変な影響を被り、非常に厳しい状況にあります。そうした状況下においても、業界を挙げて社会貢献活動に積極的、継続的に取り組んでいること、社会貢献活動に取り組む多くの団体、組織がコロナ禍によって困窮に陥った人々を支援するための様々な事業を展開されていることに大きな喜びを感じております。当機構においても、7月の「社会貢献大賞表彰式」や10月の「社会貢献フォーラムin 福島」などの基幹事業を2年ぶりに開催することができました。

さて、当機構は前身の「全日本社会貢献団体機構」時代を含め、17年目を迎えることとなります。その間、学術・文化の振興、命を大切に研究や活動、子どもの健全育成などの分野で活動する団体に対する助成、さらに2011年以降は東日本大震災をはじめ、日本各地で続発する自然災害の復旧・復興支援に取り組む団体への助成を行うとともに、遊技業界の仲間が都府県方面組合・支部組合・組合員ホール単位で実施している優れた社会貢献活動、地域貢献活動に対する顕彰を行ってきました。それに加え、2019年からは業界の喫緊の課題ともいえるパチンコ・パチスロ依存問題の予防や解決に取り組む事業・研究への助成も実施しております。ここに2021年度に実施された助成事業、顕彰事業をまとめた報告書をお届けしますので、ぜひご一読ください。

当機構では、今後も社会情勢や時代のニーズに的確に対応し、社会貢献を遊技文化の一翼に位置づけることができるよう、決意も新たに精一杯努力していきたいと考えております。皆様のより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

POSCの活動この1年

(2021年1月～12月の主な活動)

1月

■2020年度第1回常任幹事会を開催

3月

■2020年度第2回理事会(書面)

- ①議長代行について
- ②顧問・参与の選任について
- ③委員会の設置について
- ④社会貢献大賞審査委員会細則について
- ⑤社会貢献審査委員の選任について
- ⑥助成事業運営細則について
- ⑦2021年度助成事業の選考について
- ⑧経理規定について
- ⑨協賛パートナーについて

■2020年度第2回常任幹事会を開催

4月

■監事会を開催

■社会貢献大賞審査委員会(書面)

■2021年度第1回理事会(書面)

- ①2020年度事業・決算報告について
- ②2021年度事業計画(案)について
- ③2021年度収支予算案について
- ④第16回社会貢献大賞の審査結果について報告

6月

■2021年度通常総会(書面)

- ①社員の経費負担について
- ②常勤理事の報酬について
- ③2020年度決算について
- ④理事の選任について
- ⑤非常勤役員報酬規程について

■第1回常任幹事会を開催

7月

■社会貢献大賞・都府県方面部門表彰式を開催

■社会貢献活動年間報告書「POSC's 2020」を
発行

■第2回理事会(書面)

- ①常任幹事の選任について

9月

■第2回常任幹事会を開催

11月

■第3回常任幹事会を開催

12月

■2021年社会貢献、社会還元の実施調査



2021年を振り返って

2021年は、1年中新型コロナウイルス感染症の蔓延が収まることがなく、遊技業界にも厳しい状況が続いた。一方で、コロナ禍のために疲弊した医療機関をはじめとするエッセンシャル・ワーカーの方々や、生活が困窮した人々への支援については、全国の組合が積極的に取り組んだことは2021年の一番大きな特徴と言える。

以下、機構の主な5つの事業別に2021年の活動を振り返る。

1. 助成事業

2020年度はコロナ禍のため、機構が行う社会貢献フォーラムをはじめ様々な事業が中止になり原資に余裕が生まれた。2021年度は社会状況がさらに厳しくなったため、その原資を助成事業に活用し、29の団体に一般助成を行った。

「パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む事業・研究への支援」をテーマとして3年目にあたり、これまでで一番多い9つの団体に助成した。

その他の一般助成は、子どもの健全育成を目指す団体や生活に困窮している若い世代を支援する団体などに重点的に助成した。また、特別助成についても業界が行っている奨学金のために助成した。

災害復興関係については、東日本大震災から10年目にあたるため、宮城、福島への活動に助成した。

2. 依存問題への取組

依存問題に取り組む団体への助成だけでなく、それらの団体の活動結果について冊子を作成し、全日遊連の協力の下、業界の冊子である「遊報」に同梱して12,000部を配布、広報に努めた。

3. 顕彰事業

社会貢献大賞では入賞した12件のうち7件がコロナ禍に関連する事業となったが、ワクチン接種、抗原簡易検査キット、医療機関への支援金、母子施設への支援など地元のニーズに合った多彩な貢献活動が繰り返されたことがわかる。また、大賞には二酸化炭素削減に向け、クリーンエネルギー推進に資する電気自動車用の充電器やレンタルサイクル用のポートを店舗施設内に設置する活動が選ばれた。



パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む事業・研究への支援



依存問題に取り組む団体への助成やそれらの団体の活動結果についての冊子を作成

4. 社会貢献フォーラム

東日本大震災から10年目の節目として、福島県福島市で実施した。「福島民報」、「福島民友新聞」という二つの地元新聞社と共催で実施したため周知が行き届き、270人の参加者を集めることができた。テーマも「地域社会をつなぐ社会貢献」とし、地元大学、地元の社会貢献活動団体(当機構助成団体)、県外から支援活動を行っている人をパネリストとして熱心な議論を繰り広げた結果、参加者から大きな反響を得ることができた(アンケート用紙に200人を超える人が長文の感想を書いてくれた)。

5. 活動報告書の作成・配布

「年間報告書」フルサイズ版を200部作成し、関係各所に配布するとともに、16ページのダイジェスト版を作成し、「依存問題の解決に取り組む団体への助成の結果報告」と同様、全日遊連の「遊報」とともに15,500部を全国の組合員ホールをはじめ都道府県、警察署などの公共機関等に配布することとした。

最後に、2021年6月に杉浦正健代表理事が退任、前文化庁長官の宮田亮平氏を新代表理事としてお迎えした。コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻に伴う経済の悪化など厳しい社会状況は続くが、これからも業界の社会貢献活動を着実に応援していく。



福島民友に掲載された「社会貢献フォーラムin福島」の採録記事

第16回社会貢献大賞 表彰式

2021年7月2日、第一ホテル東京で「第16回社会貢献大賞」表彰式を開催しました。

「社会貢献大賞」に選ばれた石川県遊技業協同組合のほか、
都府県方面部門、支部組合部門、組合員ホール部門の
各最優秀賞及び優秀賞が宮田亮平代表理事から授与されました。

第16回社会貢献大賞



石川県遊技業協同組合ならびに同県金沢支部
「医療用防護服およびオゾン紫外線除菌機器の寄贈」事業

都府県方面部門 最優秀賞



福岡県遊技業協同組合
「第13回こども絵画コンクール」事業

2021年度 助成金贈呈式

「第16回社会貢献大賞」表彰式終了後に「2021年度 助成金」贈呈式を開催し、
助成団体に「助成認定証」が手交されました。



「国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ 特別無料公演」事業
一般社団法人エーシーオー沖縄



「第16回社会貢献大賞」表彰式および助成金贈呈式の様子